

保育園における腸管出血性大腸菌 O145 集団発生事例—福岡市

保健科学課 麻生嶋 七美・本田 己喜子
藤丸 淑美・尾崎 延芳・佐藤 正雄

病原微生物検出情報

2012 年 9 月，市内のある保育園において腸管出血性大腸菌 O145 の集団感染事例が発生した．園児，職員および園児の家族計 200 名（延べ 388 検体）について検便を実施したところ，14 名から腸管出血性大腸菌 O145:H- (*stx2*) が共通して検出され，これらの分離株の PFGE パターンは，同一であった．本事例は，菌の解析結果および保健所の実施した疫学調査の結果から，本事例の感染経路は初発園児を含むクラスを中心とした園児および家族間でのヒト-ヒト感染であったことが明らかとなった．